

はじめに

本市の地形は、東側を流れる阿賀野川流域及びその支流早出川、西側を流れる能代川及びその支流が形成する扇状堆積地となっており水資源が豊かです。早出川と能代川の間には市街地が形成されています。

また、西方は標高の低い丘陵地帯、東方及び南方は標高の高い山岳地帯で三方を山に囲まれています。山裾や溪流沿いには、多数の集落が存在します。

このような地形と宅地の状況から、本市は昔から度々洪水(洪水・内水氾濫)被害や土砂災害を受けています。堤防工事や斜面对策工事などのハード対策も進んでいますが、今後も水害・土砂災害に対する警戒対策を強化する必要があります。

加えて、市の北部には活断層「月岡断層帯」が存在し、巨大地震発生の可能性がありますので、地震についても対策強化を推進する必要があります。

五泉市災害ハザードマップの更新について

市では、平成30年3月に「災害ハザードマップ」を作成し全世帯配布しました。その後、令和4年3月に改訂版をホームページに公開しました。そしてこの度、新潟県より新たに「洪水浸水想定区域の追加」「地震被害調査結果」、下水道担当課より「内水浸水想定区域」が公表され、これらをもとにハザードマップを作成し、改訂版として2回目の全世帯配布をします。

洪水ハザードマップ(追加)

新たに中小20河川の洪水浸水想定区域が追加されました。河川間で重複する浸水想定区域は、浸水深が深い方の値を採用しています。

内水ハザードマップ(新規)

下水道(雨水)処理区域における「ゲリラ豪雨」等により、雨水が排水できないことで発生する内水氾濫浸水想定区域を示します。

土砂災害ハザードマップ(変更なし)

令和4年3月の改訂版より変更はありません。なお、今後土砂災害警戒区域の見直しにより更新される可能性があります。

地震ハザードマップ(新規)

地震被害調査結果をもとに「月岡断層帯」を対象とした「揺れやすさ(予想震度)」と「建物倒壊危険度」を示しています。

各種ハザードマップの背景図は国土地理院の承認を得て使用しています。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 648」
「背景図は基盤地図情報を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。」

目次

はじめに・目次

市の災害特徴とマップの更新 P1

洪水・土砂災害ハザードマップ

内水ハザードマップ

索引図 P2
 水害学習情報 P3-4
 土砂災害学習情報 P5-6
 洪水・土砂災害ハザードマップ(全体図) P7-8
 洪水・土砂災害ハザードマップ(各地区) P9-46
 内水ハザードマップ(五泉地区) P47-48
 内水ハザードマップ(村松地区) P49-50
 水害・土砂災害の時はこうして避難 P51
 防災気象情報と警戒レベル P52
 私の避難計画(水害編) P53-54

地震ハザードマップ

地震学習情報 P55-56
 地震ハザードマップ(揺れやすさ) P57-58
 地震ハザードマップ(建物倒壊危険度) P59-60
 地震の時はこうして避難 P61-62
 私の避難計画(地震編) P63

原子力災害

原子力災害学習情報 P64

災害・防災情報

指定避難所一覧 P65
 避難所BOX・避難所アプリ P66
 災害・避難情報の伝達経路 P67
 防災情報の収集 P68

防災への備え

助け合い活動 P69
 非常持出品・備蓄品チェックリスト P70

全体索引図

